

# 第9回転写 Club セミナー

日時：2018年6月22日(金) 18:00～19:30

場所：藤井節郎記念医科学センター4階セミナー室

## 谷本 啓司 博士

筑波大学 生命環境系 教授

### 遺伝子の長距離発現制御 ～ゲノムの壁～

遺伝子発現制御は、生命の設計図であるゲノム情報を読み出す過程に関わる、いわゆる生命現象の根幹に関わる研究対象です。プラスミドから人工染色体、そして全ゲノム、あるいは、試験管から培養細胞、動物個体へと解析手段が変遷するとともに、その解析対象範囲は拡がり、新たな階層での発現制御メカニズムが発見され続けています。当演者は、 $\beta$ グロビン遺伝子座を対象とした長距離転写制御や、ゲノム刷り込み遺伝子座を対象としたアレル特異的転写制御の研究を行っています。これらの遺伝子座は本来、独立した研究対象でしたが、意外なところで「ゲノムの壁」という接点が見つかり、そこから大きな研究の進展が得られました。本セミナーでは、演者の研究の歴史を俯瞰しつつ、最近のゲノム刷り込み制御の知見を紹介します。

セミナー後に懇親会があります。参加希望の方は  
メールにてお知らせ下さい。

連絡先：松本高広(動物資源研究分野)

E-mail: [takamoon@tokushima-u.ac.jp](mailto:takamoon@tokushima-u.ac.jp)

世話人

松本高広(動物資源研究部門)

立花誠(先端酵素学研究所)

竹本龍也(先端酵素学研究所)